

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	公益社団法人佐倉市観光協会事業補助金						
予算科目	一般会計	款	6	項	1	目	3
予算事業名	観光協会等支援事業						
実施計画の位置づけ	人材や団体の育成を支援します						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし						千円
交付先	公益社団法人佐倉市観光協会						
支出根拠規定	公益社団法人佐倉市観光協会事業補助金交付要綱						
補助の目的	市外への広報活動、市民へのふるさと意識の醸成を図ることなどにより、まちの活性化を図る。						
補助の効果	補助団体が活発な活動を行うことで、市内観光産業を含め、まちづくりにおいても活性化が見込める。						
補助対象事業の 具体的内容	佐倉市の観光PR、観光イベントの開催など観光振興の一翼を担っている、観光行政を行う上でなくてはならない団体への支援を行う。						
対象経費及び補助率	観光推進事業(1/2)、一般管理事業 使用料及び賃借料(1/2)、協会運営に係る経費(1/2)						
補助金額の根拠	公益社団法人佐倉市観光協会事業補助金交付要綱 1. 観光推進事業 ①印旛沼周辺美化事業 1,598千円 ②観光プロモーション事業 380千円 ③観光宣伝事業 510千円 2. 一般管理事業 ①使用料・賃借料 910千円 ②人件費 6,242千円 3. チューリップ植栽事業 ①会場管理経費2,422千円、植栽に係る経費8,287千円						
備考							
1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由	佐倉市の観光PR、観光イベントの開催など観光振興の一翼を担っている、観光行政を行う上でなくてはならない団体であるため。						
その他							
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課		
補助金等の名称		公益社団法人佐倉市観光協会事業補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	10,174	・観光案内件数 14,000件(市外への広報活動の成果として) ・会員数の増加(市内観光産業の活性化の指標として)	10,174	・観光案内所利用者数13,644件 ・会員数 199	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	観光PRを積極的に行ったことで、前年度より利用者数は増えた。会員数は横ばいであった。観光案内所利用者数の増加のため、新たな観光手法を取り入れ、積極的に観光PRを図っていく。観光協会会員数が横ばいなのは、景気の影響が大きく、組織的な問題ではないと考えている。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	10,174	・観光案内件数 14,000件(市外への広報活動の成果として) ・会員数の増加(市内観光産業の活性化の指標として)	10,174	・観光案内所利用者数12,254件 ・会員数 195	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	観光PRを積極的に行ったが、年度当初に発生した熊本地震の影響で前年度より利用者数は減少した。会員数も若干減少した。 観光案内所利用者数の増加のため、SNS等を積極的に活用しながら観光PRを図っていく。観光協会会員数の減少は、後継者問題や景気の影響が大きく、組織的な問題ではないと考えている。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	10,174	・観光案内件数 14,000件(市外への広報活動の成果として) ・会員数の増加(市内観光産業の活性化の指標として)	10,174	・観光案内所利用者数12,383件 ・会員数 191	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	観光PRを積極的に行ったことで、前年度より利用者数は増加したが、会員数は若干減少した。 観光案内所利用者数の増加のため、SNS等を積極的に活用しながら観光PRを図っていく。観光協会会員数の減少は、後継者問題や景気の影響が大きく、組織的な問題ではないと考えている。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	10,174	・観光案内件数 14,000件(市外への広報活動の成果として) ・会員数の増加(市内観光産業の活性化の指標として)	10,174	・観光案内所利用者数12,500件 ・会員数 197	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	観光PRを積極的に行ったことで、前年度より利用者数は増加した。会員数も増加した。 観光案内所利用者数及び観光協会会員数の増加のため、SNS等を積極的に活用しながら観光PRを図っていく。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	10,174	・観光案内件数 14,000件(市外への広報活動の成果として) ・会員数の増加(市内観光産業の活性化の指標として)	10,174	・観光案内所利用者数10,375件 ・会員数 204	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	観光PRを積極的に行ったことで、会員数は増加したが、台風・豪雨等の災害や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者は減少した。 新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。観光案内所利用者数及び観光協会会員数の増加のため、SNS等を積極的に活用しながら観光PRを図っていく。				
計画期間終了後の最終的な目標値		観光案内所利用者数14,000人、会員数253人を目指す			
計画期間終了後の最終的な成果値		観光案内所利用者数10,375人、会員数204人			